

# 放射線被ばくを学習する会 活動経過

第1回 昨年8月10日

ホームページ：<http://www57.atwiki.jp/20030810/>

- 「ICRPは外部被曝リスクを1/10に過小評価している」 温品 惇一
- 「私は甲状腺摘出手術を受けて4ヶ月ー子どもたちは大変だ」 日野川 静枝（拓殖大教授）
- 「原水爆禁止世界大会報告 被爆者との連帯について」 大豆生田 千恵

第2回 8月29日

- 「北極海は核の御用所（トイレの丁寧語）肥溜め。次は南極」 石川良宣さん
- 「第12回『県民健康管理調査』検討委員会の結果について」 白石 草(はじめ)さん(Our Planet TV)
- 「甲状腺がん 子どものがんと大人のがん」 田島直樹
- 「紹介：菅谷 昭著『原発事故と甲状腺がん』」 日野川静枝（拓殖大・教授）

第3回 9月24日

- 「住み続けていいのか？ー伊達、南相馬などの現状」 桑原豊
- 「放射能と相双地区について」 井戸川克隆・福島県前双葉町長

第4回 10月22日

- 「子ども被災者支援法の現状と課題」 福田健治 弁護士  
(福島の子どもたちを守る法律家ネットワーク (SAFLAN) 副代表)
- 「東葛地域の被ばくと対政府交渉の実際」 阿部はるまさ (放射能から子どもを守ろう関東ネット)

第5回 11月21日

- 「11.12 福島県県民健康管理調査検討委員会 傍聴報告」 田島直樹
- 「福島の健康問題・3年」 おしどりマコ・ケン

第6回 12月14日 なんでも質問会

話題提供：放射線はアート？ 副読本の論点（田島直樹）、環境汚染（村井）、食品汚染（温品）、健康・甲状腺（菊池）、大人の甲状腺（須藤）、災害と時間と人のこころ 流山市を事例に（常木）

第7回 1月20日 国連科学委の「安全論」は本当か？

- 「国連科学委 相関図」 田島直樹（放射線被ばくを学習する会）
- 「市民が送った声明と国連科学委報告書」 伊藤和子さん  
(ヒューマンライツナウ・副理事長、弁護士)
- 「科学的記述の問題点」 瀬川嘉之さん  
(高木学校、放射線被ばくを学習する会)

学習会動画：<http://www57.atwiki.jp/20030810/pages/28.html>

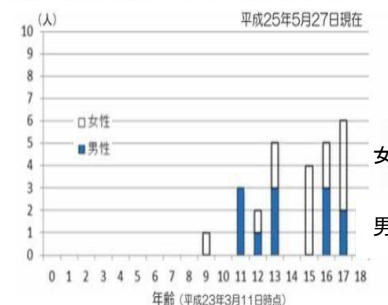
## 甲状腺検査結果資料の誤りに関する公開質問状

### 甲状腺がんおよび疑いの年齢別性別分布グラフ

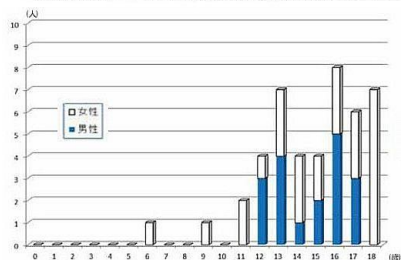
昨年 5/27 現在 28名

昨年 7/31 現在 44名

① 細胞診で悪性および悪性疑いであった28例の年齢、性分布



② 細胞診で悪性ないし悪性疑いであった44例（平成25年7月31日現在の年齢、性分布）  
(i) 平成23年3月11日時点の年齢による分布表



3.11 時点の年齢

福島民友 9/26

## データミスで質問状

### 県民健康調査で市民団体

東京電力福島第一原発事故による放射線の影響を調べている県の「県民健康管理調査」で公表されたデータに誤りがあったとして、市民団体「放射線被ばくを学習する会」は25日、県や調査主体の福島医大などに経緯を述べ、誤った年齢や性別のグラフを公表。8月12日に発覚し、その後ホームページなどでデータを修正したが、検討委員会では報告しなかった。

県の担当者は「データをグラフ化する際の操作ミス。今後は正確な発表を心掛けたい」と説明。一方、学習する会は「多角的に検証できるように生データを公開すべきだ」と訴えている。